(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2017-178341
(P2017-178341A)
(43)公開日　平成29年10月5日(2017.10.5)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
B65D 85/68	***(2006.01)***	Ｂ６５Ｄ	85/68	Ｎ	３Ｅ０３７
B65D 81/113	***(2006.01)***	Ｂ６５Ｄ	81/113	１００Ａ	３Ｅ０６６
B65D 77/26	***(2006.01)***	Ｂ６５Ｄ	77/26	Ｒ	３Ｅ０６７

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 12 頁）

(21)出願番号　特願2016-66061(P2016-66061)
(22)出願日　平成28年3月29日(2016.3.29)

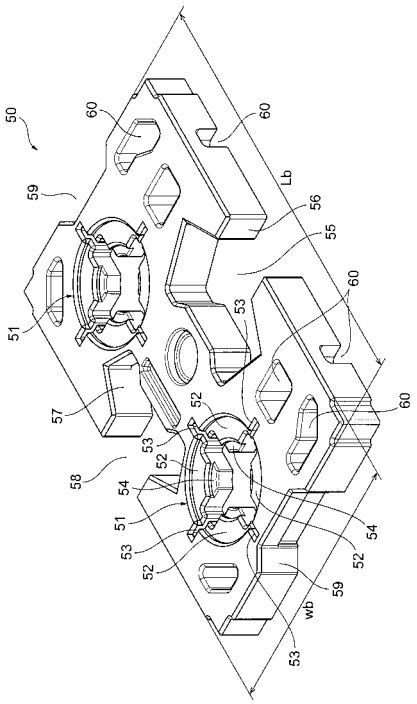
(71)出願人　000002440
積水化成品工業株式会社
大阪府大阪市北区西天満二丁目４番４号
(74)代理人　100091096
弁理士　平木　祐輔
(74)代理人　100105463
弁理士　関谷　三男
(74)代理人　100099128
弁理士　早川　康
(74)代理人　100129861
弁理士　石川　滝治
(72)発明者　鈴木　英郎
茨城県古河市下辺見１３３６番地２　積水化成品工業株式会社内

Ｆターム(参考)　3E037 AA20 BA03 BB05 BB06 BC04

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ガステーブル用の梱包材およびガステーブル梱包体

(57)【要約】　（修正有）
【課題】梱包したままの状態で、ガステーブルの天板における少なくとも燃焼部の形状を確認することのできるガステーブル用の梱包材を提供する。
【解決手段】燃焼部が天板に一体に組み付けられているガステーブル用の梱包材であって、ガステーブルの左右の側部を収容する発泡樹脂製の側部側緩衝材と、天板の上に天板を覆うように配置される発泡樹脂製の天板側緩衝材５０とを備え、天板側緩衝材５０は燃焼部に対応する位置に第１の開口部５１を有しており、第１の開口部５１の周囲にはガステーブルとともに用いられる五徳を保持することのできる所定深さの張り出し部５２と切り欠き５３が形成されている。
【選択図】図４



【特許請求の範囲】
【請求項１】
燃焼部が天板に一体に組み付けられているガステーブル用の梱包材であって、
前記梱包材は、ガステーブルの左右の側部を収容する発泡樹脂製の側部側緩衝材と、天板の上に天板を覆うように配置される発泡樹脂製の天板側緩衝材とを少なくとも備え、前記天板側緩衝材は前記燃焼部に対応する位置に第１の開口部を有しており、該第１の開口部の周囲にはガステーブルとともに用いられる五徳を保持することのできる所定深さの張り出し部と切り欠きが形成されていることを特徴とするガステーブル用の梱包材。
【請求項２】
請求項１に記載のガステーブル用の梱包材であって、該ガステーブルは天板に操作具が取り付けられている形態であり、前記天板側緩衝材は前記操作具に対向する位置に第２の開口部が形成されていることを特徴とするガステーブル用の梱包材。
【請求項３】
請求項１に記載のガステーブル用の梱包材であって、該ガステーブルは天板にブランド名等の識別文様が表示されている形態であり、前記天板側緩衝材は前記識別文様に対向する位置に第３の開口部が形成されていることを特徴とするガステーブル用の梱包材。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか一項に記載のガステーブル用の梱包材であって、前記側部側緩衝材は、該ガステーブルの天板の厚みにほぼ等しい第１の凹陥部と、天板に一体に組み付けられている燃焼部を収容できる第２の凹陥部と、対向して位置することとなる他方の側部側緩衝材に向けて延出する突出し片とを備え、該突出し片の先端の裏面部には側部側緩衝材の全体の裏面よりも下方に突出した突起部が形成されていることを特徴とするガステーブル用の梱包材。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか一項に記載のガステーブル用の梱包材と、該ガステーブル用の梱包材によって梱包された燃焼部が天板に一体に組み付けられているガステーブルと、それら全体を収納する外箱とで構成されることを特徴とするガステーブル梱包体。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明はガステーブル用の梱包材およびガステーブル梱包体に関し、特に、システムキッチンに一体に組み付けられる形態のガステーブルのための梱包材と、該梱包材によって梱包されたガステーブル梱包体に関する。
【背景技術】
【０００２】
システムキッチンに一体に組み付けられる形態のガステーブルは、システムキッチン本体の躯体部とは別個に梱包され、保管あるいは輸送に供されることが多い。また、そのようなガステーブルを梱包するための梱包材もいくつか提案されている。
【０００３】
特許文献１に記載される梱包材は、ラップラウンド式段ボール箱と、発泡樹脂製の左右の補強部材で構成され、左右の補強部材をガステーブルの左右両側部に外嵌させた状態で外箱であるラップラウンド式段ボール箱内に収納するようにしている。
【０００４】
特許文献２に記載される梱包材は、発泡樹脂製の一対の端面側パッドをガスコンロ本体の両端側に配設することによってガスコンロ本体を保護するとともに、ガスコンロ本体の上面側に発泡樹脂製の天パッドを配置してガスコンロの天板を保護するようにしている。前記天パッドには、五徳、排気カバー、バーナキャップ、電池などの付属部品を収納する凹部が形成されており、そこでこれらの付属部品を保持するようにしている。
【先行技術文献】
【特許文献】

【０００５】
【特許文献１】特開平８－２９５３８９号公報
【特許文献２】特開２００２－３０２１５５号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
特許文献１に記載される梱包材では、ラップラウンド式段ボール箱の上蓋部分を開くことで、箱の内部に収納されているガステーブルの少なくとも上面（天板側）を見ることができる。そのために、例えば購買者は、上蓋を開けるだけで、購入しようとするガステーブルの天板側の姿を自分の目で確認することができる。しかし、ガステーブルの天板側には段ボール以外の緩衝材はなく、物流の途中等で、ガステーブルの天板側に損傷が生じる恐れがある。
【０００７】
特許文献２に記載される梱包材では、ガスコンロ本体の上面側に発泡樹脂製の天パッドを配置してガスコンロの天板を保護するようにしており、上記の不都合は解消できる。しかし、ガステーブルの天板側には前記天パッドが配置されており、単に外箱を開いただけでは、購入しようとするガステーブルの天板側の姿を自分の目で確認することができない、という不都合がある。また、五徳などの付属部品を天パッドで保持することで輸送中などでの安定性を確保することはできるが、ガスコンロの天板での燃焼部の位置や形状をそのままでは視認することができない。外箱を開いただけで、天板での燃焼部の位置や形状がどのようなものであるかを視認できることは、販売者と購買者の双方にとって有益なことである。
【０００８】
本発明は、上記のような事情に鑑みてなされたものであり、具体的には、ガステーブルの天板側の保護も確実であり、ガステーブルの付属品も確実に保持することができることで、安定した物流作業を行うことが可能であることに加え、購買者等は、外箱を開けただけでガステーブルの天板側の姿を自分の目で容易に確認することのできる、より改良されたガステーブル用の梱包材および該梱包材を用いたガステーブル梱包体を開示することを課題とする。
【課題を解決するための手段】
【０００９】
本発明によるガステーブル用の梱包材は、燃焼部が天板に一体に組み付けられているガステーブル用の梱包材であって、前記梱包材は、ガステーブルの左右の側部を収容する発泡樹脂製の側部側緩衝材と、天板の上に天板を覆うように配置される発泡樹脂製の天板側緩衝材とを少なくとも備え、前記天板側緩衝材は前記燃焼部に対応する位置に第１の開口部を有しており、該第１の開口部の周囲にはガステーブルとともに用いられる五徳を保持することのできる所定深さの張り出し部と切り欠きが形成されていることを特徴とする。
【００１０】
上記の梱包材では、梱包しようとするガステーブルの左右の側部側は発泡樹脂製の側部側緩衝材内に収容されており、天板側は発泡樹脂製の天板側緩衝材によって覆われているので、それを段ボール箱などの外箱に収容して物流等に供しても、ガステーブルの安全性は確保される。さらに、天板側緩衝材は第１の開口部を有しており、外箱を開けた状態で、該第１の開口部を通して、購買者等は天板での燃焼部の位置を容易に確認することができる。それにより、購買者等は、当該ガステーブルの型式等を単に外箱を開いた状態で確実に認識することが可能となる。
【００１１】
さらに、前記第１の開口の周囲には、当該ガステーブルとともに用いられる五徳を保持することのできる所定深さの張り出し部と切り欠きが形成されているために、梱包時にそこに五徳を組み込んでおくことで、五徳の安定した保管が可能となり、物流時等での安全性が確保される。それと同時に、購買者等は、外箱を開けたときに、燃焼部と五徳との位

置関係を視認することができるので、当該ガステーブルの実使用状態での姿をイメージできる利点もある。

【００１２】

本発明によるガステーブル用の梱包材の一態様では、該ガステーブルは天板に操作具が取り付けられている形態であり、前記天板側緩衝材は前記操作具に対向する位置に第２の開口部が形成されていることを特徴とする。この態様では、購買者等は、外箱を開けただけで、当該ガステーブルが天板に操作具が取り付けられている形式のものであることを確実に認識できる利点がある。

【００１３】

本発明によるガステーブル用の梱包材の一態様では、該ガステーブルは天板にブランド名等の識別文様が表示されている形態であり、前記天板側緩衝材は前記識別文様に対向する位置に第３の開口部が形成されていることを特徴とする。この態様では、購買者等は、外箱を開けただけで、その識別文様を容易に視認することができるので、当該ガステーブルに対するより多くの情報を入手しやすくなる。このことは、当該ガステーブルのメーカー側にとっても有益である。

【００１４】

なお、ガステーブルが天板に操作具が取り付けられている形態である場合には、前記した第２の開口部を通して視認できる天板の場所に前記した識別文様を付すようにしてもよい。

【００１５】

本発明によるガステーブル用の梱包材の一態様では、前記側部側緩衝材は、該ガステーブルの天板の厚みにほぼ等しい第１の凹陥部と、天板に一体に組み付けられている燃焼部を収容できる第２の凹陥部と、対向して位置することとなる他方の側部側緩衝材に向けて延出する突出し片とを備え、該突出し片の先端の裏面部には側部側緩衝材の全体の裏面よりも下方に突出して突起部が形成されていることを特徴とする。この態様では、左右の側部側緩衝材に収容されたガステーブルを、適宜の外箱内に収納したときに、前記突起部によって、ガステーブルの裏面側に上方に向けた付勢力が作用することとなり、外箱を閉鎖した状態でガステーブルの安定性を一層向上させることができる。

【００１６】

なお、本発明によるガステーブル用の梱包材において、前記天板側緩衝材には、その機械的強度が阻害されないことを条件に、さらに多くの開口部を形成することができる。さらに多くの開口部を形成することで、梱包されているガステーブルの天板のより多くの姿を見る者に与えることが可能となる。また、天板側緩衝材に、ガステーブルにかかる他の付属品を仮収容するための凹所や係止溝を形成することもできる。

【００１７】

本発明は、上記したガステーブル用の梱包材に加えて、上記したガステーブル用の梱包材と、該ガステーブル用の梱包材によって梱包された燃焼部が天板に一体に組み付けられているガステーブルと、それら全体を収納する外箱とで構成されることを特徴とするガステーブル梱包体をも開示する。このガステーブル梱包体では、ガステーブルは、発泡樹脂製の側部側緩衝材と天板側緩衝材とからなる梱包材で梱包された状態で外箱内に収容されており、物流時や保管時において、ガステーブルの安全性が確保される。店頭や展示会等において、ガステーブルを展示するときには、外箱の少なくとも上蓋を開いた姿勢とするだけで、見る者に、ガステーブルの天板部分の姿を、少なくとも燃焼部の姿を、ほぼ実使用時の状態で、与えることが可能となる。このことは、購買者にとっては、購買の動機づけとなるガステーブルに係る情報を入手しやすくするとともに、販売する側にとっても展示が容易であるとともに、再度梱包しなおすことも容易となる。

【発明の効果】

【００１８】

本発明によれば、梱包したままの状態で、ガステーブルの天板における少なくとも燃焼部の形状を確認することのできるガステーブル用の梱包材、およびその梱包材を用いたガ

ステーブル梱包体が得られる。この作用効果は、ガステーブルの購買者および販売者の双方にとって、実用上、有益なものとなる。

【図面の簡単な説明】

【００１９】

【図１】梱包の対象となるガステーブルの一例を示す斜視図。

【図２】図２（ａ）は一方の側部側緩衝材を示す斜視図、図２（ｂ）はその側面図。

【図３】図３（ａ）は他方の側部側緩衝材を示す斜視図、図３（ｂ）はその側面図。

【図４】天板側緩衝材の斜視図。

【図５】左右の側部側緩衝材と天板側緩衝材とでガステーブルを梱包した状態を示す斜視図。

【図６】図５の正面図。

【図７】五徳を示す斜視図。

【図８】バーナキャップを示す斜視図。

【発明を実施するための形態】

【００２０】

以下、図面を参照しながら、本発明の実施の形態を説明する。

［ガステーブル］

最初に、梱包の対象物であるガステーブル１の一例を説明する。ガステーブル１は、基本的に、燃焼部２が天板３に一体に組み付けられている形式のガステーブル１である。この形式のガステーブルは、通常、躯体側としてのシステムキッチンに一体に組み付けられる。ガステーブル１は、躯体側とは別に、それ単独で適宜の梱包材によって梱包されて、物流や保管に供される。

【００２１】

図１に示すガステーブル１では、天板３に操作具４が取り付けられており、天板３の裏面側は、下面が平坦面となっている保護カバー５で覆われている。燃焼部２は、炎口を備えた通常のガスバーナであり、図１には示されないが、使用時には、ガスバーナ２の上に図７に示す五徳１０が配置される。また、ガスバーナ２には、図８に示すバーナキャップ１５が着脱自在に取り付けられる。

【００２２】

［発泡樹脂製の側部側緩衝材］

発泡樹脂製の側部側緩衝材２０を説明する。側部側緩衝材２０は、鏡面対称形である左右一対の側部側緩衝材２０ａ（図２）と側部側緩衝材２０ｂ（図３）で構成される。以下では、図２に示す側部側緩衝材２０ａについて説明する。側部側緩衝材２０ｂについては図３において対応する部材に同じ符号を付し、説明は省略する。

【００２３】

側部側緩衝材２０ａは、適宜の発泡樹脂材料による成形体、好ましくは、ポリスチレン系樹脂とポリオレフィン系樹脂を含む複合樹脂のビーズ発泡体による型内発泡成形体である。側部側緩衝材２０ａは、本体部２１と突出し片２２とで構成される。本体部２１の基本形は直方体形状であり、基本的に平坦面である外側面２３と左右の側面２４、２４と内側面２５とを備え、また、上面２６と裏面２７を備える。左右の側面２４、２４間の距離ｗａは、梱包しようとするガステーブル１の短手方向幅ａ（図１）より広く、上面２６と裏面２７間の距離ｈ、すなわち、側部側緩衝材２０ａの厚みｈは、梱包しようとするガステーブル１の天板３の上面と保護カバー５の底面間の距離よりも大きい。

【００２４】

側部側緩衝材２０ａの上面２６側には、梱包しようとするガステーブル１の天板３の厚さとほぼ等しい深さの第１の凹陥部２８が形成されており、該第１の凹陥部２８の底面は平坦面である。第１の凹陥部２８は、本体部２１の外側面２３と左右の側面２４、２４に沿う箇所では側壁を有し、内側面２５側は開放している。第１の凹陥部２８の左右の側面２４、２４に沿う側の側壁間の距離ｘは、梱包しようとするガステーブル１の短手方向幅ａとほぼ等しい。なお、図示の例では、第１の凹陥部２８の本体部２１の外側面２３と左

右の側面２４、２４に沿う部分には、凹溝２９が形成されているが、この凹溝２９は省略可能である。

【００２５】

前記第１の凹陥部２８には、梱包しようとするガステーブル１の前記した保護カバー５を収容できる大きさと深さの第２の凹陥部３０が形成されており、該第２の凹陥部３０の本体部２１の内側面２５側は開放している。

【００２６】

前記した突出し片２２は、本体部２１の前記内側面２５における横幅方向のほぼ中央部に一体形成されている。突出し片２２の裏面３１は本体部２１の裏面２７に面一に連通しており、表面３２は本体部２１の前記第２の凹陥部３０の底面と同じレベルとされている。図示のものでは、表面３２の一部が切り欠き部３３とされているが、この切り欠き部３３は省略できる。突出し片２２の先端部、すなわち本体部２１と反対の側における裏面３１の部分は、本体部２１の裏面２７よりも数ｍｍ程度だけ下位に突出する突起部３４が形成されている。

【００２７】

側部側緩衝材２０ａの長さＬ（図２）は、前記突出し片２２の先端から前記第１の凹陥部２８における本体部２１の外側面２３側の側壁までの平面視での距離が、梱包しようとするガステーブル１の天板３の長手方向の距離ｂ（図１）の１／２に等しいか、わずかに短いように設定される。なお、図２および図３において、４０で示す部位は、すべて肉盗み部であり、省略可能である。

【００２８】

［天板側緩衝材］

合成樹脂製の天板側緩衝材５０を説明する。図４は天板側緩衝材５０の一例を示す斜視図である。天板側緩衝材５０は、好ましくは、側部側緩衝材２０と同じ発泡樹脂材料で作られる。天板側緩衝材５０は、平面視で長方形である所要厚みの板状部材である。天板側緩衝材５０の短手方向の幅ｗｂは、側部側緩衝材２０ａの左右の側面２４、２４間の距離ｗａ（図２）とほぼ等しい。また、天板側緩衝材５０の長手方向の幅Ｌｂは、前記した左右一対の側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂとを、梱包しようとするガステーブル１の両側部に装着したときの、側部側緩衝材２０ａの本体部２１の外側面２３と側部側緩衝材２０ｂの本体部２１の外側面２３の間の距離にほぼ等しい。

【００２９】

天板側緩衝材５０は、それを梱包しようとするガステーブル１の天面３の上に配置したときに、当該ガステーブル１の燃焼部２、２に対向する箇所に、厚み方向に貫通する第１の開口部５１、５１が形成されている。第１の開口部５１の大きさは、そこを通して上からガステーブル１の燃焼部２を見ることができる大きさであれば制限はないが、機械的強度および緩衝性に支障を生じない限りで、より大きなものであることが好ましい。図示の例では、第１の開口部５１は平面視で円形であり、該第１の開口部５１の直径は、当該ガステーブル１で用いられる前記した五徳１０とほぼ等しい直径とされている。すなわち、この例で五徳１０は、図７に示すように、円環部１１と該円環部１１に一体となっている４本の脚１２とで構成されており、前記第１の開口部５１の内径は、五徳１０の円環部１１の外径とほぼ等しくされている。

【００３０】

第１の開口部５１は、内方に向けた４個の張り出し部５２を有しており、該張り出し部５２の表面レベルは、天板３のレベルよりも、前記円環部１１の厚みにほぼ等しい分だけ、下位になっている。第１の開口部５１における、前記五徳１０を収容したときに五徳１０の脚１２が位置することとなる部位には、所要深さの径方向の切り欠き５３が天板側緩衝材５０を貫通するようにして形成されている。

【００３１】

さらに、この例においては、前記張り出し部５２の先端側は、全体で円を形成する形状となっており、形成される円の直径は、この例では、図８に示すバーナキャップ１５の内

側リング１６の直径とほぼ同じとされている。さらに、前記張り出し部５２の先端側には、全体で周囲壁が円形をなすような段差部５４が形成されており、該段差部５４の周囲壁で形成される円の直径は、前記バーナキャップ１５の本体部１７の外周縁の直径とほぼ等しくされている。

【００３２】

必須ではないが、図４に示す天板側緩衝材５０には、第１の開口部５１に加えて、第２の開口部５５が形成されている。第２の開口部５５は、天板側緩衝材５０を梱包しようとするガステーブル１の天面３の上に配置したときに、当該ガステーブル１の天面に備えられた操作具４に対向する箇所に厚み方向に貫通するようにして形成されている。また、図示の例では、第２の開口部５５は側方部が開放部５６となっている。

【００３３】

天板側緩衝材５０における前記第２の開口部５５に対向する部位には、第３の開口部５７が形成されている。そして、第３の開口部５７における天板側緩衝材５０の長手方向側辺のほぼ中央に該当する箇所は、開放部５８とされている。図１には示されないが、天板側緩衝材５０をガステーブル１の天板３の上に配置したときに、前記第３の開口部５７に対向する天板３の部位には、例えば、ブランド名等の識別文様が表示されている。

【００３４】

省略可能であるが、天板側緩衝材５０の短手方向の側辺におけるほぼ中央部には、肉盗み部５９、５９が形成されている。さらに、天板側緩衝材５０の適所には、肉盗み部でもあるさらに他の貫通孔６０が、所要の機械的強度を確保できる範囲で、適数個形成されている。

【００３５】

［ガステーブル梱包体］

上記のガステーブル用の梱包材を用いてガステーブル１を梱包する手順を説明する。最初に、左右一対の側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂとを、前記突出し片２２同士が対向した姿勢として、配置する。対向配置した左右一対の側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂの上から、図１に示したガステーブル１を、その天板３側を上側として、側部側緩衝材２０内に落とし込む。両側から、左右一対の側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂを内側に向けて押し込むことにより、ガステーブル１は、その天板３が側部側緩衝材２０の第１の凹陥部２８内に収容された姿勢で、しっかりと梱包される。

【００３６】

その状態で、図示しない段ボール製の外箱内に落とし込み、梱包されたガステーブル１の上に天板側緩衝材５０を配置する。そして、図５に示すように、第１の開口部５１、５１内に、図７に示した五徳１０、１０を、図に示した姿勢で、すなわち脚１２を下に向けた姿勢で落とし込み、さらに、図８に示したバーナキャップ１５、１５を、図に示した姿勢で、すなわち裏返した状態で、前記段差部５４内に落とし込む。なお、天板側緩衝材５０に落とし込んだ状態で、五徳１０およびバーナキャップ１５が天板側緩衝材５０から上方に飛び出ることがないように、天板側緩衝材５０の厚み、および前記第１の開口部５１の深さと前記段差部５４の深さを予め設定する。それにより、五徳１０およびバーナキャップ１５を取り付けた状態で、図６に示すように、天板側緩衝材５０の上面は平坦面となる。なお、図示のものでは、バーナキャップ１５は内側リング１６を下側として第１の開口部５１内に落とし込むこともできる。

【００３７】

その状態で、図示しない外箱の蓋を閉めることで、本発明によるガステーブル梱包体１００とされる。すなわち、燃焼部２が天板３に一体に組み付けられているガステーブル１を、左右一対の側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂおよび天板側緩衝材５０で包み込み、その全体を段ボール製などの外箱内に収容することで、図５および図６に示す梱包体１００とされる。なお、図５および図６では、単に図示の分かり易さの観点から、外箱は図示を省略している。

【００３８】

図６の側面図に示すように、ガステーブル１を側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂおよび天板側緩衝材５０とで包み込んだ状態では、その全体の形状はほぼ直方体であり、上面、底面、４周の側壁は実質的に平坦な面となっている。そのために、それを外箱で包み込むことは容易であり、ガステーブル梱包体１００としての保管や物流作業も容易となる。

【００３９】

一方、外箱の上蓋を開けた状態では、図５に示すように、天板側緩衝材５０に形成された多くの開口部を通して、ガステーブル１の天板３の面を視認することができる。特に、第１の開口部５１を通して、燃焼部２の形状を確認することができるとともに、該開口部５１には、付属品である五徳１０およびバーナキャップ１５も組み込まれているので、見る者は、五徳１０およびバーナキャップ１５の形状に加えて、ガステーブル１の使用時の状況も想像することができる。また、第２の開口部５５を通して、操作具４の位置と形状も確認することができ、さらには、第３の開口部５７を通して、天板３に付された識別文様も確認することができる。

【００４０】

そのために、単に、外箱の上蓋を開けた状態とするだけで、見る者は、当該ガステーブル１に関する実用上有益な多くの情報を入手することが可能となり、購買者にとっても販売者にとっても、本発明によるガステーブル梱包体１００は、極めて使用勝手の良いものとなる。

【００４１】

また、図示のガステーブル梱包体１００では、短手方向辺の中央部は肉盗み部４０、５９によって空所となっており、長手方向辺の中央部も、開放部５６と開放部５８および側部側緩衝材２０ａと本体部２１と側部側緩衝材２０ｂの本体部２１との間の空間とによって空所となっている。そのために、物流中などにおいて、図示しない外箱の短手方向辺の中央部あるいは長手方向辺の中央部に予期しない衝撃力が加えられた場合でも、その衝撃は外箱が前記空所内に変形することで吸収されるので、ガステーブル１の本体側に不用意な衝撃力が加わるのをある程度は防止することができる。

【００４２】

また、左右の側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂの突出し片２２、２２の裏面３１の先端部には、本体部２１の裏面２７よりも数ｍｍ程度だけ下位に突出する突起部３４が形成されているために、側部側緩衝材２０ａと側部側緩衝材２０ｂに収容されたガステーブル１を、適宜の外箱内に収納したときに、前記突起部３４によって、ガステーブル１の裏面側である保護カバー５に、上方に向けた付勢力が作用することとなり、外箱を閉鎖した状態でのガステーブル１の安定性を一層向上させることができる。

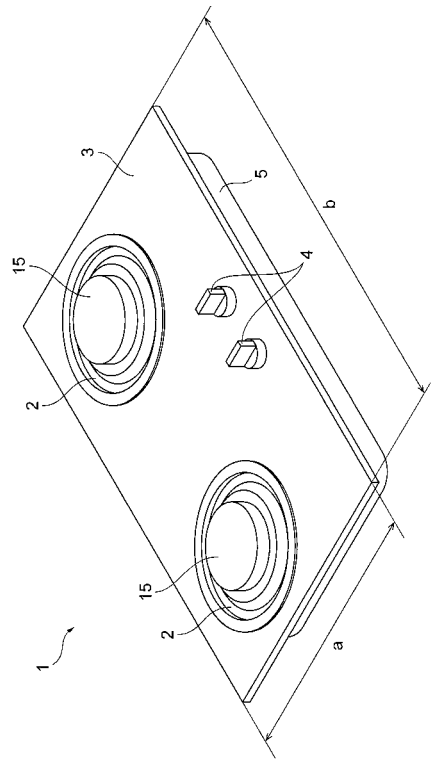
【符号の説明】

【００４３】

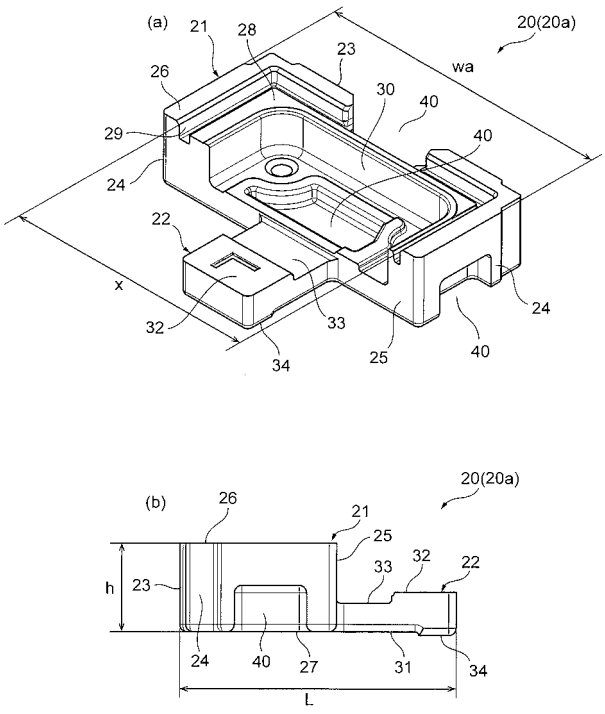
１…ガステーブル、
２…燃焼部（ガスバーナ）、
３…天板、
４…操作具、
５…保護カバー、
１０…五徳、
１１…五徳の円環部、
１２…五徳の脚
１５…バーナキャップ、
１６…バーナキャップの内側リング、
１７…バーナキャップの本体部、
２０（２０ａ、２０ｂ）…発泡樹脂製の側部側緩衝材、
２１…本体部、
２２…突出し片、

２３…本体部の外側面、
２４…本体部の側面、
２５…本体部の内側面、
２６…本体部の上面、
２７…本体部の裏面、
２８…第１の凹陥部、
２９…凹溝、
３０…第２の凹陥部、
３１…突出し片の裏面、
３２…突出し片の表面、
３４…突出し片の裏面に形成した突起部、
４０…肉盗み部、
５０……発泡樹脂製の天板側緩衝材、
５１…第１の開口部、
５２…第１の開口部の内方に向けた張り出し部、
５３…第１の開口部に形成した径方向の切り欠き、
５４…第１の開口部の内方に向けた張り出し部に形成された段差部、
５５…第２の開口部、
５６…第２の開口部の開放部、
５７…第３の開口部、
５８…第３の開口部の開放部、
５９…肉盗み部、
６０…他の貫通孔。
１００…本発明によるガステーブル梱包体。

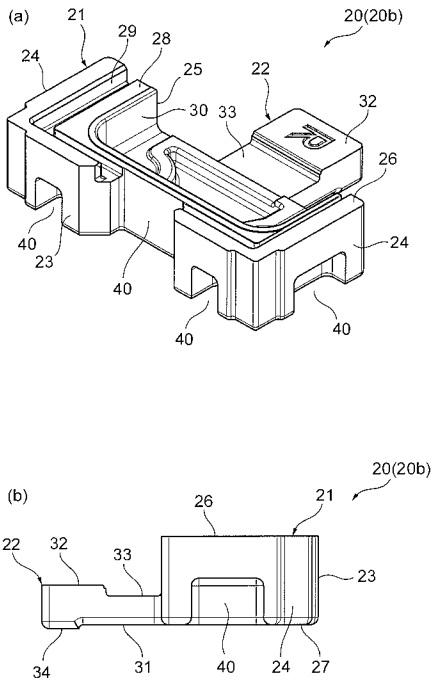
【図１】



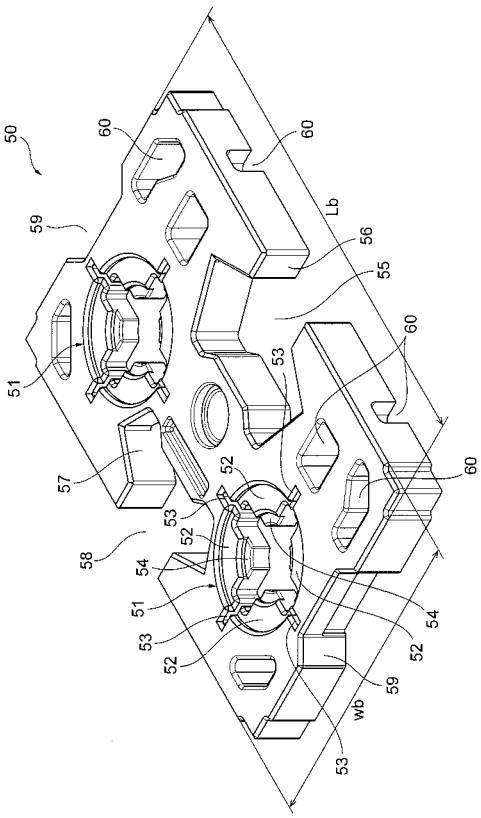
【図２】



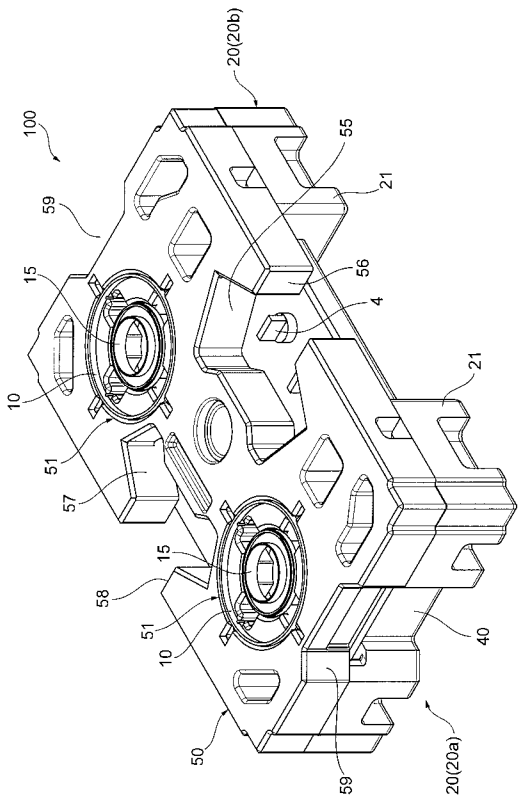
【図３】


(a)
20(20b)
21
29
28
24
25
22
30
33
32
26
40
23
24
40
40
40
(b)
20(20b)
26
21
22
32
33
23
34
31
40
24
27

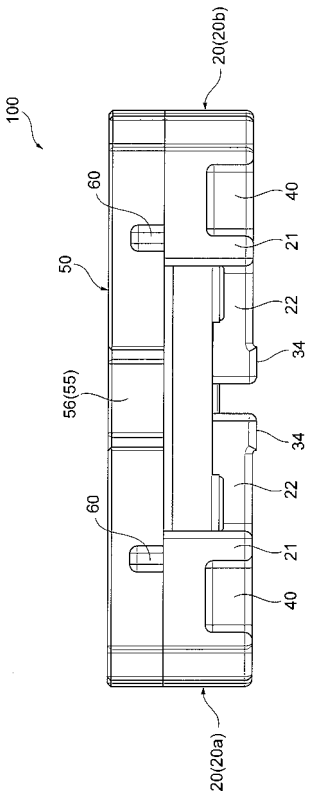
【図４】


50
60
60
59
Lb
56
55
60
51
53
57
52
60
53
52
58
54
51
54
53
52
52
59
wb
53

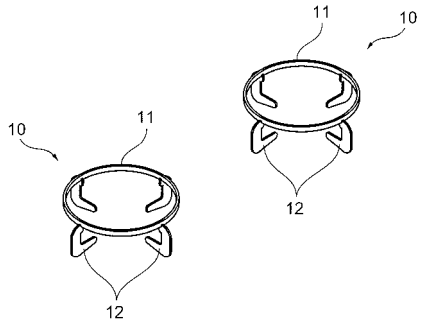
【図５】


20(20b)
100
55
59
21
56
15
4
21
10
51
57
15
58
51
10
40
50
59
20(20a)

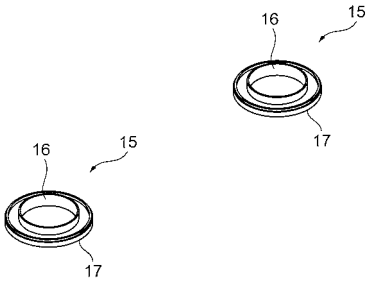
【図６】


20(20b)
100
60
40
21
50
22
34
56(55)
34
22
60
21
40
20(20a)

【図７】



【図８】



フロントページの続き

Ｆターム(参考) 3E066 AA05 BA01 CA01 DA01 DB01 FA13 HA06 JA01 KA20 NA12
3E067 AB59 AC01 BA05A BB17A BC06A EA01 EC33 FA02 FC01 GD03